

2023. 3. 10

No.048

## 取手駅「2022年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ 2月27日 第1回団体交渉を行う！（その2）

3.本施策により、話せる指定席券売機の導入や指定席券売機を増設しない根拠を具体的に示すこと。

回答：ICTを活用した商品購入の利便性向上と購入形態の変化を踏まえて、効率的な駅業務を構築するために販売体制を見直すものである。また、話せる指定席券売機は、各駅のご利用状況や配置バランスを勘案して設置していく。

組合 話せる指定席券売機や指定席券売機を増やすことを現場は求めているが、増やさなくて大丈夫だという具体的根拠は何か。

会社 我孫子駅と龍ヶ崎市駅に窓口があるエリアバランスとか、窓口とMV券売機の発券枚数を鑑みて特に設置しなくてもできると判断した。

組合 窓口を無くすのだから窓口で代わるものが必要ではないか、2（窓口と券売機）あるものが1（券売機）になるのはおかしい。

会社 あくまでも現状の対応としては発券枚数とかMVの稼働状況を見て増設はしないで可能という判断である。また今後の発売状況の変化や体制とかを含め、状況が変化すれば増設の可能性とかはあるのかなと思うので、逐一状況を把握させてもらう。

組合 指定席券売機を頑なに入れない理由は何か。入れてみてという判断はないのか。

会社 現状の発券枚数を見たということ。増設してみてもという現場の判断はあるが、現状を見て増設しなくても大丈夫という判断をしている。

組合 どうなれば判断してくれるのか。発券枚数でしか見れないのか。

会社 発券状況や駅の管理者とコミュニケーションを取っているが、現状の西口と東口1台ずつになるが対応可能という認識である。

組合 現場の声というのは反映されないのか。

会社 社員の声を全く反映しないとは言っていない。現状の把握をしていく。

組合 **データだけで判断だけを見るのではなく、現場社員の意見を聞くことが必要だ！**

4.出札窓口閉鎖に伴い、周辺自治体・学校などへの説明やお客さまへの周知の方法について具体的に明らかにすること。

回答：訪問および掲示等により、必要な周知は行っているところである。

組合 周知について具体的にどこに知らせているのか。

会社 市役所、自治体については首都圏本部から1月下旬に直接訪問している。それ以外は駅での対応でポスター、構内放送をしている。近くのアトレ、市役所と連携して5社連絡会や、学校では取手一高、江戸川学園取手にも訪問している。

組合 守谷（関東鉄道）の方から来るお客さまへの対応は。

会社 隣接する関東鉄道については、水戸支社から連携をいれている。

その3へ続く